

# 三原順の世界展

没後 25 年

～生涯と復活の軌跡～

6.3(wed) ▶ 6.14(sun)

開館時間＝10:00～19:00 ※6月10日休館日



ねこ 小学1年生(推定)



小学1年生 冬休みの絵日記より



昭和40年 札幌市立南小学校6年4組卒業文集



この絵の原画を探しています！  
他にも原画や資料などをお持ちの方は、是非一報ください。

「はみだしっ子1982カレンダー」8月イラスト「サマータイム」より(原画所在不明)

## 札幌が生んだ伝説のマンガ家 北海道初の原画展

札幌で生まれ育ち、描き続けたマンガ家・三原順の没後25年に合わせて、北海道初となる原画展を開催します。三原順が約40年前に描いた「はみだしっ子」シリーズは、実の親に暴行、放置、監禁、殺されかけて家を捨てた4人の少年が、鋭いまなざしを社会や自分自身にも向けながら、時に楽しく時に泣きながら旅を続ける物語です。独特の魅力に満ちた本作は、他にかけがえない物語として読者の心をつかみ、熱狂的な支持を得ました。彼女の作品は、自分を徹底的に否定されて育った子どもたちに、自分を取り戻す力を与えてくれたのです。三原順没後、絶版作品の復活を望む運動が広がります。彼女の作品に助けられた、恩を返したい、何かできることはないか。やがて、三原順の作品はすべて復刊され、幻の作品の出版、特集本や画集まで実現しました。2015年に東京で開催された「～没後20年展～三原順 復活祭」では、日本全国のみならず、海外からもファンが詰めかけ、異例の会期延長となりました。そして没後25年、三原作品が札幌に里帰りします。

本展では、三原順の幼少期から未完の遺作までの主な作品、没後の軌跡を年代に沿って紹介し、最後にいくつかの視点で作品を振り返ります。約100点の展示作品のうち、子供の頃の絵や作文はすべて、本展で初展示です。それらは、三原順のマンガ家としての萌芽と、一人の子どもの眼に映った、かつての札幌の風景を伝えてくれています。三原順の作品には、カラー原画、高校時代の小説、投稿作品など、いくつか所在不明のものがあります。札幌の地で開催する本展では、それらの発見や証言を得られる効果を期待しています。また、多くのマンガ家を輩出している北海道に、マンガ美術館があるべきでは？という展示も行います。会場では、「三原順の世界展」オリジナルの図録・グッズや、画集「三原順 All Color Works」(2020年、白泉社)などを販売します。

## Profile

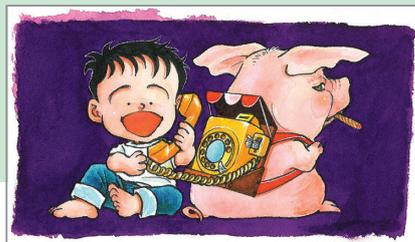
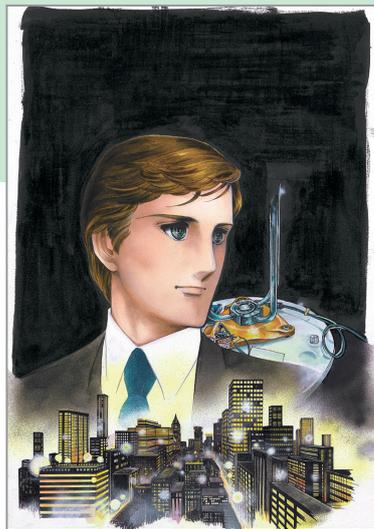


三原順 (みはらじゅん 1952～1995) プロフィール

マンガ家。本名・鈴木順子。1952年10月7日札幌市に生まれる。1971年、札幌南高等学校卒業。1973年、集英社「別冊マーガレット」掲載の「ぼくらのお見合い」でデビュー。1975年から1981年まで白泉社「花とゆめ」に連載された「はみだしっ子」シリーズが代表作。他の作品に「ルーとソロモン」「X Day」「Sons」など。1995年3月20日、「ピリーの森ジョディの樹」を執筆中に42歳で永眠。

## グッズや愛用品などの展示も!

三原順のアトリエに保管されていたスヌーピーのトランク。中には懸賞品や全員プレゼントなどのグッズが詰め込まれてました。



1987年3月号「花ゆめEPO」懸賞 テレホンカードより

1982年「LaLa」6月号「Die Energie5.2☆11.8」第1回扉原稿へのテロを題材にした、綿密な調査に驚かされるミステリー。発表から29年を経た2011年、チェルノブイリ事故以前にここまで描いていた予言のようなマンガが存在したと、話題になった。

## Event

関連トークイベント (会場:札幌市民交流プラザ2階SCARTSスタジオ)

1 「順さまのワイワイ仕事場(あるいはシュラバ)」  
日時:2020年6月6日(土) 14:00～  
出演:笹生那実(マンガ家)、楡崎玲奈(元アシスタント)

2 「三原順のこぼれを考える」  
日時:2020年6月13日(土) 14:00～  
出演:瀧波ユカリ(マンガ家)、三角みづ紀(詩人)  
司会:赤木国香(北海道新聞社記者)



1979年「三原順のトランプブランド」より

## 札幌文化芸術交流センター SCARTS

〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ  
TEL.011-271-1955 (札幌文化芸術交流センター SCARTS)



交通のご案内  
札幌市営地下鉄東西線、南北線、東豊線  
「大通」駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結 徒歩約2分  
さっぽろ地下街オーロラタウンから西2丁目地下歩道直結

主催:ムーンライティング、札幌市民芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)  
後援:北海道新聞社

協力:鈴木俊裕、井波彰子、白泉社、明治大学 米沢嘉博記念図書館、劇団スタジオライブ、ヤマダトモコ、赤木国香

※本展示には、文化庁平成27-30年度メディア芸術連携促進事業の一環で実施された、マンガ原画の収集・保存・管理・利活用に関する事業の成果を活用しています。

©三原順の世界展 公式 Twitter @mihara\_sekaiten  
公式ページ <http://moonlighting.jp/sekaiten/>

